



大区画化+スマート農業で日本の主食の生産基盤を強化

現在 now



将来 future

インフラ

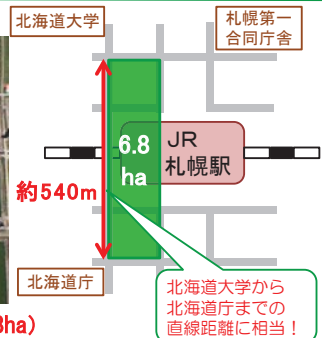


小区画【0.3~0.5ha】ほ場

大区画化及び
排水対策の実施



大区画【3.4ha】ほ場（最大6.8ha）



北海道大学から
北海道庁までの
直線距離に相当！

整備推進中

地域



GPS未使用

走行が蛇行している他、残る作業幅も不均一



GPSガイダンス等の
スマート農業の導入



GPS使用

走行が直進であり、作業の重複が少ない

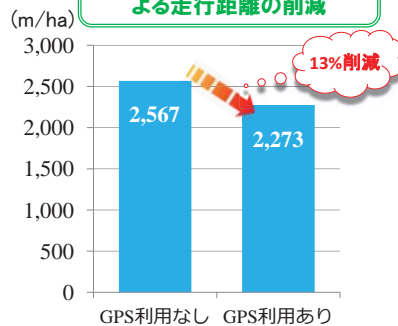
営農の効率化

農地の大区画化や排水対策等の基盤整備を実施し、担い手への農地集積・集約化を図るとともに低コスト化を推進

大区画化とあわせて、GPSガイダンス等の新技術を導入することにより、更なる省力化・低コスト化を実現

大区画ほ場で無人ロボットコンバインの実証試験も行われるなど、大区画化が農業技術の革新を促し、それによって大区画化のメリットをさらに引出すという相乗効果が発揮

GPSガイダンスシステム利用による走行距離の削減



米を収穫する無人ロボットコンバイン

